



令和4年5月13日(金)
浜松市立赤佐幼稚園
②

サークル顔合わせ、引渡し訓練を実施しました。

4月26日(木)のサークル顔合わせと引渡し訓練に御参加いただき、ありがとうございました。コロナ感染状況により思うようにはできないかもしれませんが、各サークル活動のお力添えで子供たちの活動、体験がより豊かなものとなることを期待しております。また、保護者の方が集う場でもありますので、子育ての情報交換やちょっとした息抜きの場にもなればと思います。1年間、よろしくお願ひします。



引渡し訓練では、暑い中でも教師の指示を聞き、落ち着いて行動する子供たちの姿が見られました。真剣な態度で参加できたことと思います。幼稚園ではこれから毎月、地震や火災を想定した避難訓練を実施し、自分の身の守り方や逃げ方など、災害時の行動の仕方が身に付くよう、練習を積み重ねていきます。



また、この日は自由参観も実施しました。お子さんの様子をゆっくりと御覧いただき、園での様子がお分かりいただけたかと思ひます。お家の人や多くの大人の方が見てくださる中だったので、いつもとはちょっとちがう環境であると感じ取ったようです。見てもらえることがうれしい子、ちょっとドキドキしていた子、一緒に遊んでほしいと思う子など、いろいろな心もちだったでしょう。それでも教師と一緒に過ごしたり、友達と一緒にいつもの遊びをしたりと、ここ1ヵ月で過ごした成長の様子が表れていました。赤佐っ子だよりやブログ、学年だよりにて今後の様子を知らせていきます。

心を揺さぶられる体験。

4月26日(木)のブログで紹介した「だんごむしに夢中」。だんごむしの入った虫かごが廊下に置かれていて、それを男の子たちがじーっと覗いていました。はじめは少人数だったのに、いつのまにか互いの頭がくっつきあうほど集って……。どうしてこんなにも多くの子が覗いていたかという、だんごむしの数が半端なかったからです。見えますか？ 右写真のだんごむしたち。すごくうじゃうじゃ動いて…(笑) 思わずのけ反り、「うわ〜っ！」と声をあげてしまいました。これだけの数だったからこそ、子供たちの心を動かしたのでしょう。実はこれ、同じクラスのAさんが夢中になって集めてきたもの。教師があらかじめ用意したものではありませんが、これも環境(状況)となり、赤佐幼稚園の目指す子供像「人、もの、出来事に進んで関わる子」の育ちへとつながったのです。(次ページにて解説)



遊びや体験を通した学びや育ち。丁寧に紐解き、幼児教育の見える化を図る。

身近なものや出来事と関わる力

人と関わる力

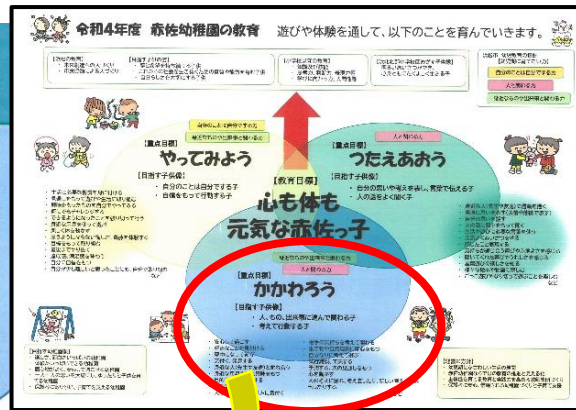
【重点目標】
かかわろう

【目指す子供像】

- ・ 人、もの、出来事に進んで関わる子
- ・ 考えて行動する子

- ・ 安心して過ごす
- ・ 好きなことを見付ける
- ・ 夢中になって遊ぶ
- ・ 気付く、発見する
- ・ 身近な人(先生や友達)と触れ合う
- ・ 身近な用具や遊に興味をもつ
- ・ 目的を共有、協力する
- ・ 異学年と育ち合う
- ・ 人との様々な関わり方に気付く

- ・ 相手の気持ちを考えて関わる
- ・ 生き物や自然現象に関心をもつ
- ・ 自分なりに考えて遊ぶ
- ・ 試行錯誤、工夫する
- ・ 予測する、次の見通しをもつ
- ・ 心を動かす
- ・ 人の考えに触れ、考え直したり、新しい考えを生み出したりする



だんごむしとの触れ合いを体験した子供たち。この体験を通して得られたものは・・・

- ・ 安心して過ごす中で、好きなことを見つけ関わっていた。
 - ・ 心動かされるものと出会い、夢中になって見ていた。
 - ・ 身近な生き物に興味・関心をもつことができた。
 - ・ (言葉にしていなくても) その子なりに気付いたり、発見したりしたことがあった。
 - ・ 同じ興味を持った子と出会い、同じ動きをしながら楽しく過ごしていた。
- など

4月当初に配布した赤佐幼稚園のランドデザイン。「かかわろう」に必要なおさえと照らし合わせて見ると、赤線を引いた箇所該当するのがお分かりいただけますでしょうか？
遊びや体験を通して、数値化できない力が子供たちの中に育っていきます。

安心が土台となり、いろいろな人、もの、出来事との関わりへ広がっていく。

入園当初は不安から泣いて表す子、お家の人と離れることを嫌がる子もいた年少組さんでした。しかし今では、幼稚園が安心でき、楽しいところだということが分かってきたようです。好きな場やもの、出来事を見つけ、自分から少しずつ関わりを広げています。上記だんごむしの事例もその一例です。

毎年、この時期になると職員室にも来てくれるようになる年少組さん。右の写真は、職員室にいる教師の様子をそっと覗きこむ子供たち。身近な人に興味・関心をもってくれているようです。こちらが近寄ろうとすると笑顔で逃げていく姿には、愛嬌が感じられます。親しくなるのはもちろんのこと、今この距離感も楽しめてうれしく思います。



見つからないように
じ—————。。。
残念！気付いてるよ（笑）